

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

ス
ズ
ラ
ン
と
ど
手
折
り
。





あの…恥ずかしいです
プロデューサーさん…

どうしてこんなふうにし
けないんですか…?



あの…?
それって…
なんなんですか…?

…あ
たしかマッサージ機…?

……



誘われてホテルに来たんだから
覚悟はあったんだらう？
怖気づきながらも
僕を信じてくれたんだらう？

…だけど



は……
はじめまして……

初めて会ったとき
君はずっと
困ったような顔でいた

そうだ
もつと悲鳴じみた声を
聞かせてほしいんだ……

自分の不幸のせいで
人に迷惑を……なんて
自分を卑下して
ばかりだった彼女も
少しずつ明るく
前向きになっていった



運が悪いのは変わらず
それをどうにか
できないところも変わらず

ここにいる
だけで
幸せになれそう……

だけど一歩一歩
運の悪さを乗り越えようと
運が悪くてもそのせいに
しないように

そうやって君は
仕事も日常も
歩んでいた

奮



健気にひたむきに
仕事にも取り組んで

その仕事から
仲間も友達もできて

わっ

はあ

はあ



トクバトルショーで
あのメンバーの中で
負けずに自分の不幸をネタに
してしまったときは驚いた

そんな強さや明るさを
どんどん手に入れていく
ほたる

あの八の字もそのうち
もつと柔らかくなって
きつと笑顔になつていく
そう思えるような
進み方だった

ほたるにとって
もつともいい方向に
進んでいると
確信するような
そんな

………
だけど

僕は

出会った頃の
どうしようもなく
謝ってばかりだった
君だから
アイドルに
したかったんだ



君の信頼を裏切らせてくれ

だから……



すっかり
びしょびしょだね
実はえっちな子
だったのかな？

そんなの生理現象だって……
わたしだって知って……
きやふっ!!



ははは
こんなものでいじられて
もっと泣くかと思っただけ
だけどなあ



んー？ なんて言ってるのか
わからないなあ
ほらっもっとはっきり
言っつてよっ

あきやう……



やっあつ
あああ...っ
もう...
だめです...っ

これ以上
これだから...



ほたるってば
なんだかともつても
気持ちよさそうだね

よしじゃあ
もっといいところに
当ててあげるね



!?
そっそこはだめ...
だめですっ...!
だめなのに...っ





ほたるの
かわいらしい乳首だから
いじめたくなるんだよ

やあ...っ
恥ずかしいです...っ
これ以上...はあっ



お願いします…
そんなに強く
されたら
痛くて…っ

これから
もっと痛くするんだから
慣れてもらわないと



えっ……!!



…ちがうな

いた…になるか



そっ
それって…っ!

ここまで
ついて来てるんだから
わかってるんだろ?

それは…っ



わかって…
ますけど…でも…っ

だよな?
じゃあ準備するね

そうだ
君が僕のことを
好いてくれてるって
知っている
信じていてくれてるって

いや…
して…
た…





痛い…っ痛いです…っ

息…できなくなっ…っ
うああ…あ…っ



きっとほたるは
僕に出会わない方が
幸せでいられたんだろう

ごめんな…
こんな自分勝手に
君を不幸にしてしまっ…

でも

もっと不幸にするまで
やめられないんだ…っ

プロデューサーさん…っ
お願いしますっ
ゆっくり…っひっ



まだそんなふうには
僕のことを呼ぶっていうのか……

痛いぐらいなのに……なのに
どうして……っ
プロデューサーさん……っ

ああ……あつ

どうして……







僕は君にひどいことを
しているんだぞ
最低なことを
しているんだ……!

ほたるだって
軽蔑して……

そんなこと
ありません!



……なんで……受け入れるような
ことを言うんだ……!



それだけは……
絶対だって
信じてます……っ



な……

たしかに……
今されていることは
ひどいこと……なのかも
しれません

とても痛かったですし……
悲しい気持ちに……
なりましたけど……

プロデューサーさんは
ひどい人じゃありません……
したくてひどいことを
するような人じゃ……
ありません……



どうしてわたしみたいな顔をしてるんですか…？
自分じゃどうにも
ならないことを…祈るみたいに

それは…っ



違う…！
ずっとこうしたかったんだよ！

だって…そうだったら…
ひどい人だったら…

いいえきつと
違います…



それに…
わたし知ってます…
あなたが…隠していた
ファンレターのこと…

危険なものとか…
少し言葉のきついものとか…
前もって調べてくれてるのは
知ってました…

でもある日
それを見つけてしまって…
…それがわたしの
不運だったのか
それとも…



悲しくなりましたがけど
でも…
不思議な気持ちに
なりました

あの頃の…不幸を
嘆いただけのわたしを
好きでいてくれた人も
いるんだって…



その手紙は
「どんどん明るくなって行って
そんなのは君らしくない」
…そんな内容でした

とても驚きました…
わたしきつといい方向に
進めているって…
そう思っていたんです

変な感じでした…
変わらなくちゃって
思ってたのに

でもだからこそ…
さつき気づいたんです

きつとあなたも
そうなんだって…!!

ほたる…

ふふ…
そんなに驚かないでください
わたしなんかのことを
スカウトするなんて
それくらいでないかと
変ですし…っ

でもそれじゃ…
どっちにしろ最低だよ
自分の好みで
君を裏切って…

ううん…
きつとわたしが
今よりずっと明るくなって
いつも笑顔でいられるような
アイドルになったら…
その…そんな自分は
想像できませんけど…

そうだったら
今のファンの人たちは
離れて行ってしまおうと
思います…

それでも…

あっ
もちろん全員じゃない
とは思いますが
思いますけど…っ

人が離れていったとしても
わたしは…そんな
素敵な女の子になりたいって
思っています…

そう…だよ

でも…



憧れのなりたい自分より
わたしは…もっと…

トップアイドルに…
なりたいんです…!



だから…
いいんですっ

あなたが望むわたしに
してください…っ♡



…笑顔になった君を
魅力的に思う人だって
きっとたくさんいるよ？

ふふ…
プロデュース方針と
プロデューサーの思いが
ずれてたら
うまくなんて…
いかないと思いますよ…？



それは…
その通りだと
思うけど…





あーあーあー
あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

さっきと全然ちがーっ
あーあーあー

くっ...
あーあーあー

プロデューサーさん...っ
あついです...っ
はあ...あつ

ふあああ♡
ああ……っからだが
浮いちやいます……っ



さっきは余裕なくて
感じる暇なかったけど……
ほたるの中
すごくいいよ……っ

んっ
ちゅっ
ふあ

さっきまで…
すごく痛かったのに
わたし…っ
ほーっとしてきて…っ

それが気持ちいい
ってことだよ
今度はちゃんと
教えてあげるからね…っ

あーっ
おしえてっ
おしえてっ

あーっ
おしえてっ
おしえてっ

プロデューサーさん…
おしえてっ
おしえてっ

プロデューサーさん…っ
わたし…
あなたと出会えて
本当によかった…っ
思っています…

あなたと出会えたことが…
きつと一番の幸せ…
です…っ

君のことを
明るく笑顔の似合う子には
してやれない……っ
でも……

君がそう言って
くれるなら……!!

はい……っ
はい……っ

きゅ……くたまたらっ♡

出る……!

ほたる……
ほたるの瞳内にっ!

ああ……♡



はあ……はあ……
もう……
動けません……

その……
いくらなんでも
やりすぎた……



それにこれもわたしの
不幸かもしれない……
だから気にしないで
ください……

でもきつと……
この不幸がなかったら
プロデューサーさんと
こうなることもなくて……



そうですね……
さすがにこんな
はじめては……
想像してませんでした

うう



ですから……
これからも
わたしのことを
いっぱい幸せにして……

それから
時々はまだ不幸にも
してください……ね？

……今から
不幸にしてもいい？

ええっ

……ははは
……ははは

……

おわる



2015.3.08
Hard Lucker